

# 人間・高山辰雄展 森羅万象への道

## Takayama Tatsuo Retrospective



《少女》1979年 個人蔵

自然と人間とのつながりや、生命の尊厳について思考し、独自の画境を切り拓いた大分市出身の日本画家・高山辰雄（1912-2007）。その深い精神性を湛えた絵画表現は、没後10年を経た今日もなお、高く評価されています。

1931年、東京美術学校（現・東京藝術大学）に入学した高山辰雄は、在学中の1934年、第15回帝展に初入選し、若き才能を開花させます。松岡映丘に師事し、同門の先輩・山本丘人らとともに研鑽を積みました。戦後間もない頃にゴッホの伝記に感銘を受け、1950年代には鮮やかな色面で構成した人物表現に挑みます。その後は、次第に点描による静謐で幻想的な画風へと展開し、宇宙までも視野に入れた壮大なスケールで、人間の生と死や、その存在の神秘を問い、現代社会に生きる人間を描き出しました。1982年に文化勲章を受章、杉山寧、東山魁夷とともに「日展三山」と称され、戦後の日本画壇の最高峰として活躍しました。

本展は、世田谷美術館との共同企画で実施するもので、70余年にわたる高山辰雄の画業を回顧します。貴重な学生時代のスケッチから、生涯に三度開催した個展「日月星辰 高山辰雄展」で発表した屏風の大作、大分初公開の宮内庁所蔵《主基地方風俗歌屏風》、そして、亡くなる前年の94歳にして初めて手がけた自画像まで、数々の代表作を通じて、人間の本質を掴もうとした人間・高山辰雄の芸術世界に触れていただければと思います。

会期 2018年7月7日(土)～8月19日(日) ※休展日7月30日(月)  
 開館時間 10:00～19:00 ※金曜日・土曜日は20:00まで(入場は閉館の30分前まで)  
 会場 大分県立美術館 3階 展示室B  
 観覧料 一般 800(600)円、大学生・高校生 500(300)円  
 ・( )内は前売および20名以上の団体料金 ・中学生以下は無料 ・障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料 ・大分県芸術文化友会の会 びびKOTOBUKI無料(同伴者1名半額)、TAKASAGO無料、UME団体料金 ・障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料 ・学生の方は入場の際、学生証をご提示ください ・本展観覧券の半券で、会期中に限りコレクション展を団体料金でご覧いただけます

主催 公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館  
 共催 大分合同新聞社、OBS大分放送  
 特別協賛 Audi正規ディーラーAudi大分  
 協賛 株式会社ワオ・コーポレーション  
 後援 大分県、大分県教育委員会、大分県芸術文化振興会議、大分県民芸術文化祭実行委員会、西日本新聞社、NHK大分放送局、エフエム大分、大分ケーブルテレコム株式会社  
 特別協力 世田谷美術館、大分市美術館

おおいいた 第33回国民文化祭・おおいた2018  
 大茶会 第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会 プレイベント  
 おおいた大茶会とともに 第20回 大分県民芸術文化祭参加行事







《主基地方風俗歌屏風》1990年 宮内庁蔵 \* 左隻:後期のみ/右隻:前期のみ展示



《砂丘》1936年 東京藝術大学蔵 \* 前期のみ展示



《室内》1952年 世田谷美術館蔵



《穹》1964年 東京国立近代美術館蔵 \* 前期のみ展示



《牡丹(阿蘭陀壺に)》1989年 個人蔵

## 展覧会見どころ その1

### 代表作を網羅した大回顧展

帝展初入選作《湯泉》や東京美術学校卒業制作《砂丘》など写実を追求した初期の代表作から、《浴室》、《沼》、《室内》など日本画の革新を目指した戦後の意欲作、《出山》、《穹》、《食べる》、《いだく》など多くの人の心に残る傑作、さらに、生涯に三度開催した個展「日月星辰 高山辰雄展」で発表した屏風の大作や最後の日展出品作となった《自寫像二〇〇六年》まで、数々の代表作を通じて、人間の本质を掴もうとした人間・高山辰雄の芸術世界に触れられるまたとない機会です。

## 展覧会見どころ その2

### 《主基地方風俗歌屏風》が大分へ

古来より天皇ご即位の大嘗祭には京都より東を悠紀(ゆき)、西を主基(すき)として新穀を報じる国にちなんだ和歌と風景図を屏風絵に仕立てて配置する習わしがあります。平成2年の今上天皇即位の際には、悠紀地方に秋田県、主基地方に大分県が選ばれ、高山辰雄は主基地方の屏風を担当しました。六曲一双屏風の大画面には、伝統的なやまと絵の形式を踏襲しながら、春夏秋冬の大分の風景が描かれています。今回、この屏風がはじめて大分にやってきます。



《自寫像二〇〇六年》2006年 個人蔵

## 関連イベント

### ■座談会「人間・高山辰雄を語る」

講師：高山由紀子(高山辰雄長女、映画監督、脚本家)  
新見隆(大分県立美術館館長)

日時：7月7日(土) 14:00-15:30

会場：大分県立美術館 2階 研修室

定員：80名

\*要事前申込

### ■講演会「高山先生との思い出」

講師：土屋禮一(日本画家、日本芸術院会員、日展副理事長)

日時：7月28日(土) 14:00-15:30

会場：大分県立美術館 2階 研修室

定員：80名

\*要事前申込

### ■ギャラリー・トーク

日時：7月15日(日) 14:00-15:00

7月27日(金) 16:00-17:00

8月4日(土) 14:00-15:00

8月18日(土) 14:00-15:00

会場：大分県立美術館 3階 展示室B

案内：当館学芸員

申込：不要(要展覧会観覧券)

参加ご希望の方は、お電話またはapp@opam.jpへ [件名] にイベント名、[本文] にお名前と電話番号をご記入の上、お申し込みください。(先着順)

[お問い合わせ] 大分県立美術館 美術館管理課 広報担当 宇都宮・木藤・後藤・植木